

平成25年度 当初予算案

生活を守り まちの活気を感じる

区民応援予算



平成26年3月開院に向け建設が進む昭和大学江東豊洲病院。左隣には、(仮称)豊洲西小学校が平成27年4月開校予定

平成25年度の江東区当初予算案は、一般会計で1,650億6,500万円と前年度に比べ2.2%増となりました。また、一般会計と特別会計(国民健康保険会計、介護保険会計、後期高齢者医療会計)を合わせた予算総額は、前年度比2.9%増の2,522億3,600万円となっております。平成25年度当初予算は、2月20日から始まった平成25年第1回区議会定例会の審議を経て、決定します(2面に主な事業)。

図るほか、スポーツ祭東京2013の開催や区の喫緊の課題である中小企業支援、若年者就労支援、保育所待機児童の解消、高齢者・障害者施設の整備、環境施策等ハード・ソフト両面において区民生活を支える施策を展開していきます。

行財政改革の推進

平成25年度当初予算では特別区税や特別区交付金は増収となりますが、中・長期的には大幅な回復は期待できません。

区では、外部評価による行政評価結果を踏まえ、事業の見直しや再構築、全事業の総点検を行うとともに、江東区行財政改革計画に掲げる職員定員の適正化や、区民税等の徴収対策の強化など歳入の確保に努め、先行き不透明な経済情勢下にあっても安定的に区民サービスが提供できる強固な財政基盤の確立に努めていきます。

区民の安全・安心のさらなる充実に向けた予算編成

区では、長期計画の着実な実行とさらなる安全・安心施策を進めるため、「防災都市江東」

から派生する新たなビジネス、国政による経済対策など、光明を感じさせてくれます。

48万人区民の尊い命を守り 将来を見据えた予算



江東区長 山崎孝明

治体として責務を果たしてまいります。

平成25年度当初予算編成では、南部地域における総合病院の整備など6つの重点プロジェクトをはじめとした長期計画の着実な実施を図り、生命を産み、育み、守る、区民生活の息吹やまちの活気が感じられる予算案としました。

昨年、本区の優先課題として「防災都市江東」の実現を掲げ、区民の自助・共助の支援や公助の施策に取り組んでまいりました。今後も、48万人の区民をはじめ在勤・在学者、旅行者も含め尊い生命を守るため、基礎自

我が国の経済は、乏しい国内資源を補う新たな取り組みや、再生可能エネルギーの活用促進

から派生する新たなビジネス、国政による経済対策など、光明を感じさせてくれます。しかし、本区の中小企業の現状は厳しい状況にあり、少子高齢化に伴う内需の先細りなど、景気向上を妨げる不安要因を払拭することはできません。また、人口増加は、税の増収が見込まれる一方、保育や教育施設など新たな行政需要も伴います。合わせて、本区が地域事情に合った行政の役割を果たすには、権限移譲や地方分権の進展など、地方公共団体としての自主性および自立性を高める必要があります。

特別区税および特別区交付金の先行きが不透明な財政状況では、健全な財政運営を念頭に置き、積立基金や起債の有効活用、区民税等の徴収対策など財源確保を図り、区民福祉に供する公的施設の整備など区民サービスの向上に取り組んでいかなければなりません。

私は、安らぎや歓喜ある未来のため、こどもが誇れるまちづくりのため、将来を見据えた行政課題に着実に対応し、強いリーダーシップで区政運営に取り組んでまいります。

まちの活気を創出し、区民生活を応援する施策展開

平成25年度予算では、(仮称)江東区中央防災倉庫の整備、災害時の初期消火対応力・給水体制の強化、防災無線子局の区内全域整備、東京都帰宅困難者対策条例の施行に伴う備蓄物資の整備など「防災都市江東」の推進にかかる経費に対して、優先的に予算を配分しました。

また、(仮称)第二有明小学校の整備や小・中学校大規模改修事業など、江東区長期計画に定める主要事業の着実な実施を

区分	平成25年度	平成24年度	増減率
一般会計	1,650億6,500万円	1,614億9,100万円	2.2%増
国民健康保険会計	532億600万円	519億5,700万円	2.4%増
介護保険会計	266億6,900万円	245億8,700万円	8.5%増
後期高齢者医療会計	72億9,600万円	70億2,800万円	3.8%増
計	2,522億3,600万円	2,450億6,300万円	2.9%増

☎(3647)1760 財政課予算係